

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-M8800



警告

安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

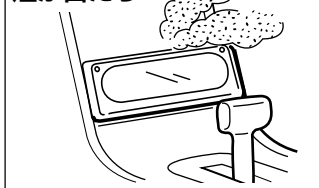
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
CDについて	7
MP3について	9
はじめに	12
まず、本機をリセットする	13
CD・ラジオの聞きかた	14
各部のなまえ	
(本体)	16
(カードリモコン)	17
時計を合わせる	20

CD/MP3・MD

CD/MP3・MDを聞く	21
繰り返し聞く	
(リピート再生)	26
曲順を変えて聞く	
(シャッフル再生)	27
ディスクに名前をつける	
(カスタムファイル	
ーディスクメモ)	28
ディスクを名前で探す	
(リスト)	30

ラジオ

放送局を自動で登録する	31
放送局を手動で登録する	34
放送局に名前をつける	
(ステーションメモ)	35
放送局を名前で探す	
(リスト)	37

サウンドの設定

DSOを設定する	38
イコライザーを使う	
(EQ7)	39
音のバランスや音質を設定する	
(バス) (トレブル)	
(バランス) (ATT)	41
BBE MPの設定を変更する	42
スピーカーの出力を設定する	43
サブウーファーの出力を設定する	45

その他の操作

音や表示などの設定を換える	47
画面モード・表示画像を	
設定する	49
ポータブル機器の音声を聞く	51
ロータリーコマンダー (別売り)	
の操作	53

使用上のご注意	56
故障かな?	59
保証書とアフターサービス	63
主な仕様	64
索引	66



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

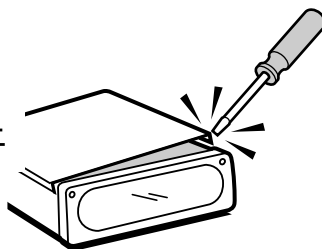
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

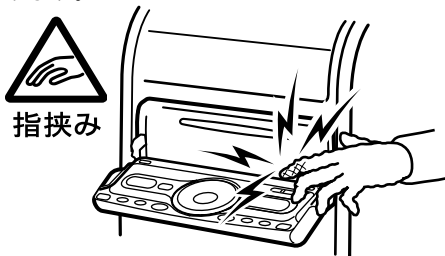
ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となる場合があります。



フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となる場合があります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

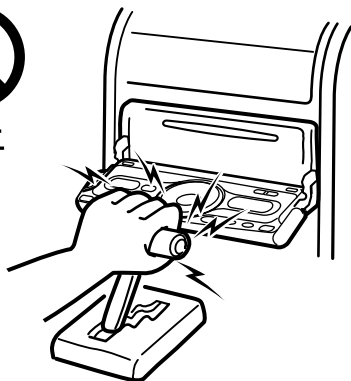
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、ディスクの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行して下さい。



禁止



電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の（＋）と（－）を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

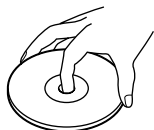


- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。

8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

次のページへつづく

CDについて (つづき)

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

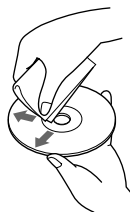


お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R (レコーダブル) およびCD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD		
MP3ファイル		
		

- ファイナライズ処理 (通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理) をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R (レコーダブル)、CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスクをご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字)。

フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大で半角31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む)。フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名、フォルダー名は最大で32文字。

Romeo：ファイル名、フォルダー名は最大で半角64文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra：セッション1のトラックに音声 (オーディオCDデータ) を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD：1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声 (オーディオCDデータ) を記録するフォーマット。

ご注意

- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
 - 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
 - マルチセッションで記録したディスク
 - セッションの追加が可能なディスク
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

[次のページへつづく](#)

MP3について (つづき)

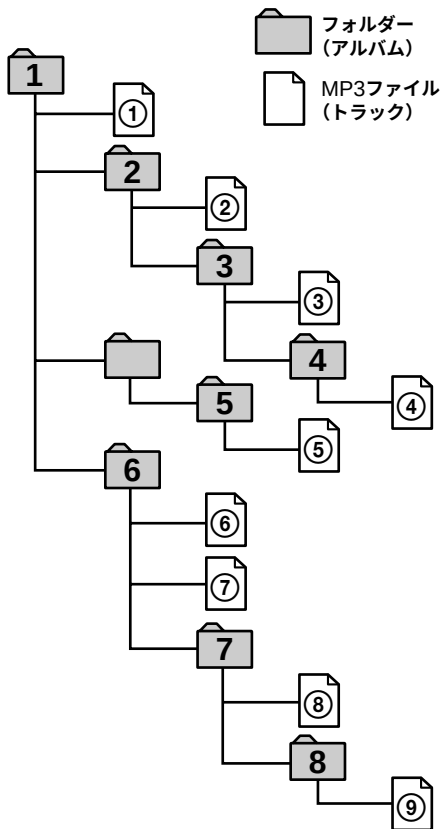
マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
最初のセッションのオーディオCDデータのみ通常に再生し、その他のデータはとばします。
2番目以降のセッションのデータは、すべてとばします。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
 - ー ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
 - ー ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- 多くの階層で記録したディスクは、再生開始までに時間がかかる場合があります。
1つか2つの階層でディスクに記録することをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーは150個までです。(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーも含みます。)
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大300個までです。
ファイル名、フォルダー名の文字数が多い場合は、300個以下になることがあります。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定することができます。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

はじめに

- 本機はCDとMP3、ラジオに対応。

CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT

MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW (ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している)、マルチセッション対応

ラジオ：FM/AM

- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザーカーブ（EQ7）機能搭載。
- MP3音源などを豊かに再生するBBE MP*機能搭載。
- * BBE MPプロセスはデジタル圧縮技術によって失われた高調波を修復、補修することにより、MP3などのデジタル圧縮された音声の音質を改善します。BBE MPは、最適量の偶数次高調波と奇数次高調波をもとの音から作り出し原音に加えることにより、効果的にやわらかさ、ディテール、ニュアンスなどを再現します。
- 運転感覚で操作できるワイヤードロータリーコマンダー（別売り）、ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）に対応。

BBE[®]MP
DIGITAL

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのソニー製ワイヤードロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

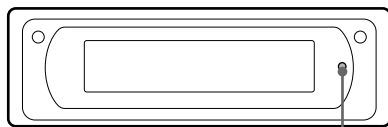
まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。RESETボタンはつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

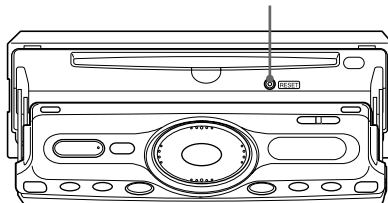
- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。
- RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「Demo」（デモモード）を「off」にしてください（47～48ページ）。
- リセット動作が終了したら、カードリモコンのOPEN/CLOSEボタンを押して、本体のフロントパネルの開閉が行われることを確認してからお使いください。

ディスプレイサイド



RESETボタン

オペレーションサイド



RESETボタン

はじめに／まず、本機をリセットする

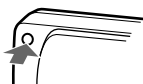
CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

本機のボタンで操作するにはOPENボタンを押してフロントパネルを開いてください。

1 パネルを開ける

OPENボタンを押します。

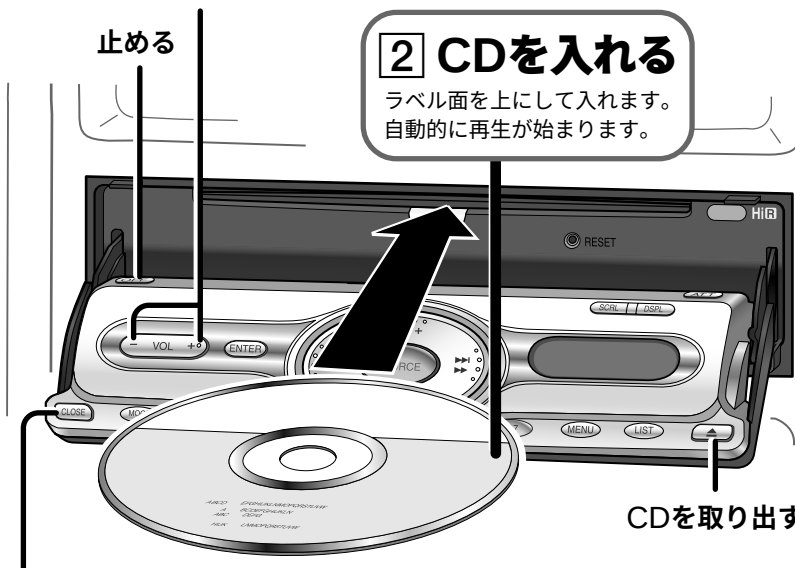


音量を調節する

止める

2 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。



CDを取り出す

3 パネルを閉める

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」表示にする
と再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

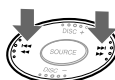
一時停止するには
カードリモコンの数字ボタン6 (PAUSE) を
押します。
もう一度押すと再生が始まります。

本機では8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因となります
ので、使用しないでください。

聞きたいところを探す(手動サーチ)

◀◀◀/▶▶▶を押し続け、聞きたいとこ
ろで離します。

前に戻す



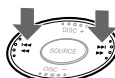
先に進める

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

◀◀◀/▶▶▶をとばしたい曲の数だけ短
く押します。

曲の頭や前
の曲へ戻す



次の曲へ進む

ラジオを聞く

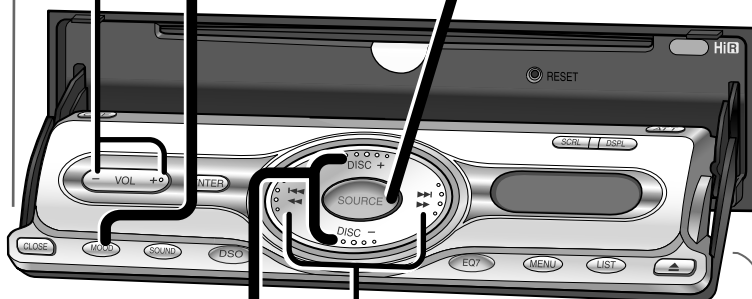
本機のボタンで操作するにはOPENボタンを押してフロントパネルを開いてください。

1 ラジオ受信にする

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

音量を調節する



3 聞きたい放送局を選ぶ

登録されている放送局を選びます。
付属のカードリモコンでも選ぶことができます。
くわしくは31～34ページをご覧ください。

受信をやめるには
OFFボタンを押します。

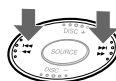
本機の下段に取り付けた機器を使用するときは、フロントパネルを閉じてください。

- 下段の機器のボタン類が押せない
- 表示窓が見えない
- ソフト交換ができない
- ことなどあります。

自動選局で受信する(自動選局)

聞きたい放送局を受信するまで、
◀◀◀/▶▶▶を繰り返し短く押します。

前の放送局
を探す

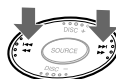


次の放送局
を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)

◀◀◀/▶▶▶を押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

低い周波数の
放送局を探す

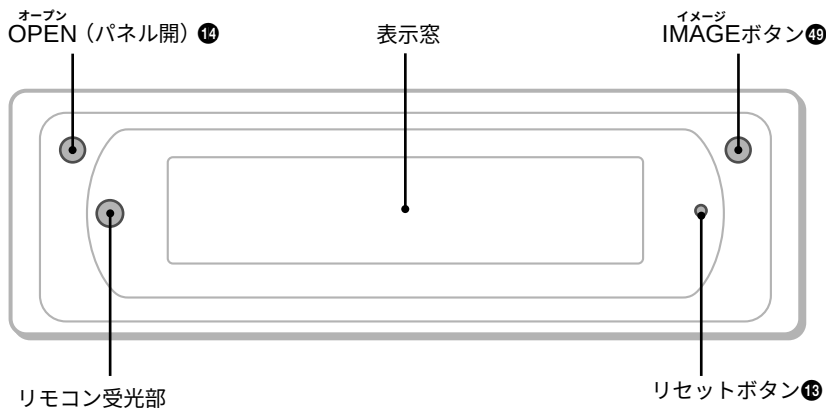


高い周波数の
放送局を探す

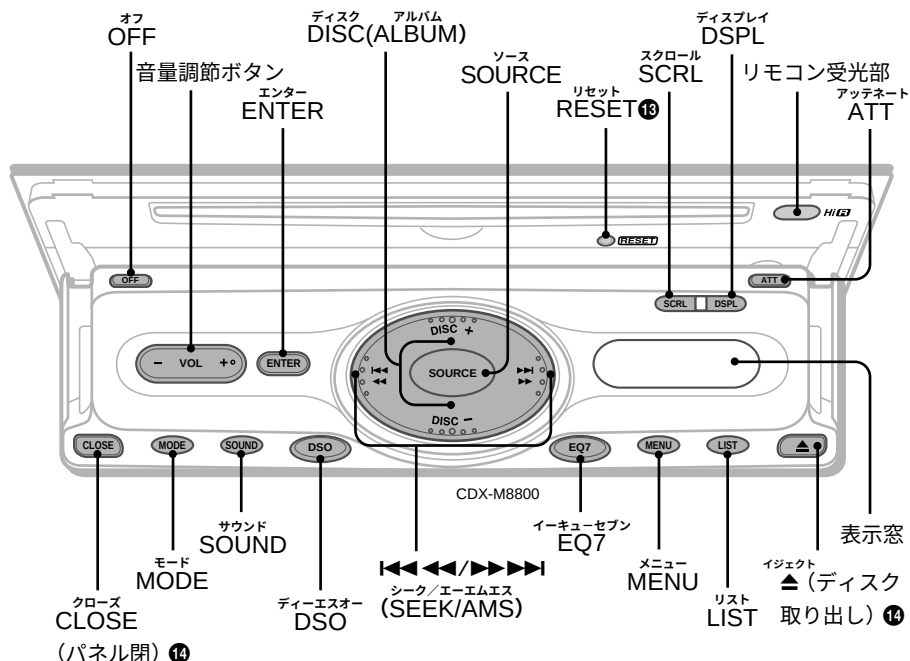
各部のなまえ（本体）

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

ディスプレイサイド



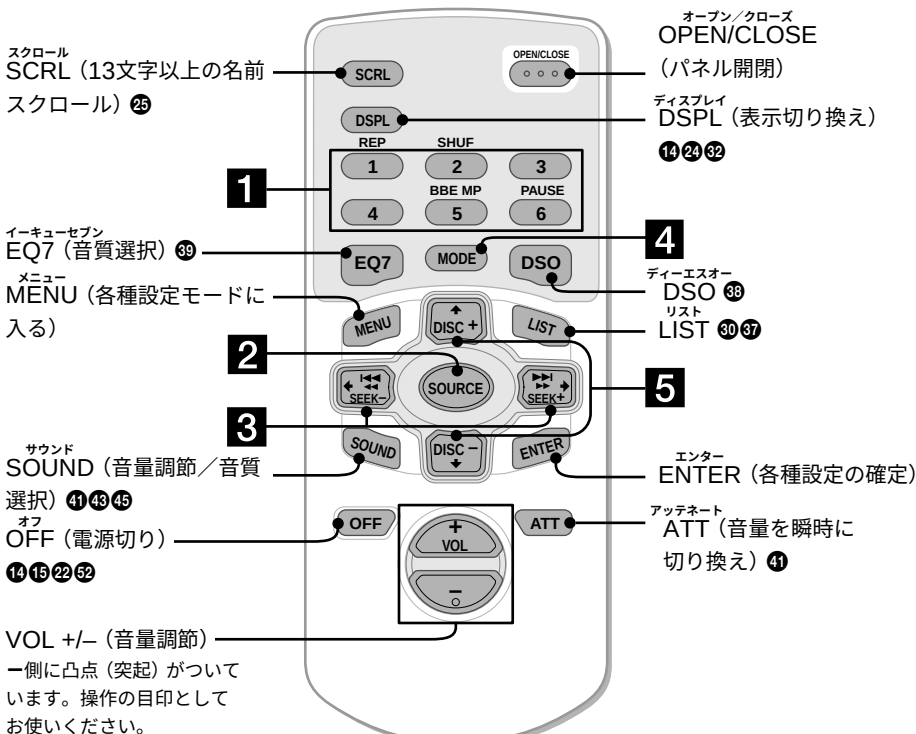
オペレーションサイド



各部のなまえ（カードリモコン）

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。本機に特有のボタンについては、本体で操作をしてください。



各部のなまえ(本体)／(カードリモコン)

ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し
続けて表示を消してある場合は、カードリモコン
で本機を操作できません。操作できるようにする
ためには、一度本体でラジオを受信するなどの操
作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上
のご注意」(57ページ)をご覧ください。

次のページへつづく

各部のなまえ (カードリモコン) (つづき)

1 数字 (1~6) ボタン

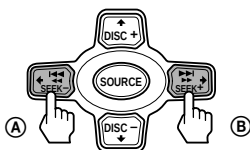
ラジオ 放送局の登録/選択 **31 34**

CD/MD 1: REPボタン **26**
2: SHUFボタン **27**
5: BBE MPボタン **42***1
6: PAUSEボタン **22***1

2 SOURCE (ラジオ/CD/MD (MS)*2 /AUX*3 切り換え)

3 (SEEK (AMS))

(ラジオ選局/頭出し/設定項目選択)



(A)

(B)

ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける) 15 32 34	周波数の高い 放送局へ (押し続ける) 15 32 34
-----	--	--

CD/MD*4	前の曲へ 14 19 23 早戻し (押し続ける) 14 23	次の曲へ 14 19 23 早送り (押し続ける) 14 23
---------	---	---

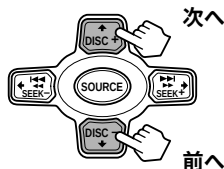
4 モード MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り換え **15 31 34**

CD/MD*4 CD/MD機器の切り換え **21**

5 (DISC (ALBUM))

(プリセットサーチ/ディスク選択*5/アルバム選択*6/メニュー項目選択)



ラジオ 登録した局の選局 **31 37**

CD/MD*4 ディスクの選択*5 **19 22**
(短く押す)
アルバムの選択 **19 22**
(長めに押す)*6

メニュー項目選択時に2秒以上押し続けると、メニュー項目のカテゴリーをスキップすることができます。

*1 本機でディスクを再生するときのみ

*2 MS: MG-MSシステムアッププレーヤー
MGS-X1 (別売り)

本機はMGS-X1をMDとして認識します。

*3 別売りのソニー製ポータブル機器が本機の外部音声入力端子に接続されているとき
(別売りのソニー製CD/MD機器を接続している場合は使用できません。ポータブル機器とCD/MDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セクターをお使いください。)

*4 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されているとき

*5 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき

*6 MP3ファイルを再生しているとき

ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

ディスクやアルバムを選ぶには

↑または↓でディスクやアルバムを選ぶことができます。

**本機でCDを再生している場合は
(別売りのソニー製CD機器を接続していない
場合)**

MP3再生時に、↑または↓を繰り返し押して、再生したいアルバムを選びます。
押し続けると連続して送れます。
(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

**別売りのソニー製CD/MDチェンジャー
でCDまたはMDを再生している場合は**

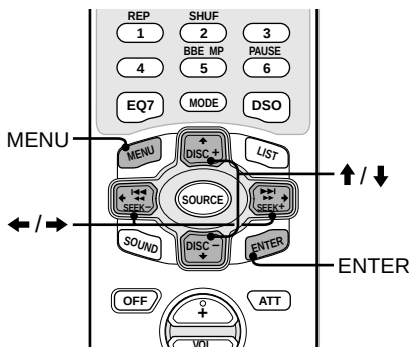
- ↑または↓を押すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。
ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。
- MP3再生時に、↑または↓を押し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。
ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押すと、1つずつ送れます。

連続して曲の頭出し(自動選曲 センサー(AMS))をするには

←または→を押すと、前の曲や次の曲に押した数だけスキップします。連続して送るには、ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押し、とばしたい曲の数だけ短く押します。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

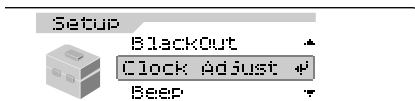
ACCボジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

ちょっと一言

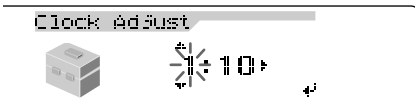
Clock機能を「on」に設定すると、再生中や受信中に常に時計を表示します(47～48ページ)。

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Clock Adjust」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



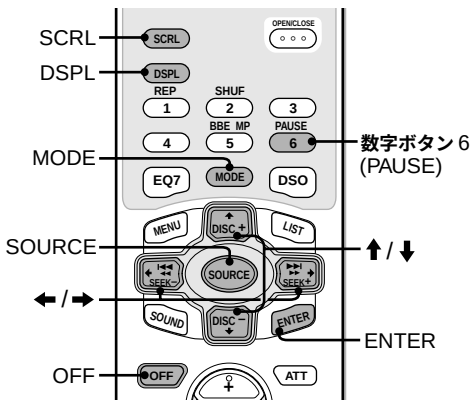
- ① ↑または↓を繰り返し押して、「時」を合わせます。
- ② →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を繰り返し押して、「分」を合わせます。
↑を押すと数値が進み、↓を押すと数値が戻ります。

4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

CD/MP3・MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製MP3対応CD機器またはMD機器を接続して、CD、MP3ファイル、MDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

- *1 MP3再生時のみ表示します。
- *2 CD TEXTディスク、MP3ファイルまたはMD再生時のみ表示します。
- *3 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。
- *4 別売りのソニー製MDLP対応機器で、MDLPディスクを再生時のみ表示します。
- *5 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生時のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

ディスク名/アルバム名*1/
曲名*2/ID3タグ*1など

MP3表示*1/MDLP表示*4
MP3：MP3再生時
LP2：LP2再生時
LP4：LP4再生時

CD/MD
ユニット番号*3

時計

ディスク番号*5/
アルバム番号*1

曲番号

再生経過時間

- 2 MODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）を選ぶ。

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）*3 →
CD3（CD機器2）*3 → … → CD1 →

MDの場合*3

MD1（MD機器1）→ MD2（MD機器2）→
MD3（MD機器3）→ … → MD1 →

次のページへつづく

CD/MP3・MDを聞く（つづき）

ちょっと一言

- 一時停止が機能するのは、本機でディスクを再生するときのみです。
- 数字ボタン6（PAUSE）をもう一度押すと再生が始まります。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのソニー製CD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生します。

オーディオCDデータまたは、MP3ファイル以外のディスク再生時のご注意

- 本機の場合は「NO Music」と表示した後、時計表示（OFF）になります。
- MP3対応のCD機器の場合は「NO Music」と表示し、次のディスクを再生します。
- MP3未対応のCD機器の場合はCDと認識し無音再生します。

MP3再生時のご注意

- MP3再生時、初めにディスク内の情報（アルバム、トラック数など）を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「Read」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

一時停止するには

数字ボタン6（PAUSE）を押します。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に**↑**または**↓**を押す。

押すたびに、次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。

聞きたいアルバムを選ぶには

本機でMP3ファイルを再生している場合：
(別売りのソニー製CD機器を接続していない場合)

再生中に**↑**または**↓**を繰り返し押す。

次のアルバムまたは前のアルバムに1つずつ切り換わり、押し続けると連続して送れます。
(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーでMP3ファイルを再生している場合：

再生中に**↑**または**↓**を押し続けて、聞きたいところで離す。

ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを短く押すと、1つずつ送れます。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に◀または▶を押す。

押すたびに、次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中に◀または▶を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「1...1」または「1...1」が表示され、それ以上前、または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1（別売り）で再生するには

SOURCEボタンを繰り返し押して、「MS」または「MD*」を選ぶ。

「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して、「MS」を選びます。

例) MGS-X1をソースセクター（別売り）の入力端子2に接続した場合、MODEボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

MD1 (MD機器1) → MS (MGS-X1) →
MD3 (MD機器2) → ... → MD1

* 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

次のページへつづく

CD/MP3・MDを聞く(つづき)

ちょっと一言

- 本機ではCD TEXTディスクやMP3ファイル、MDに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO Disc Name」または「NO Track Name」と表示されます。
- 本機で表示できない文字や記号は「□」に置き換わります。
- CD TEXTディスクの、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(25ページ)で「A.Scroll-on」にしておくと、ディスクやアルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3のID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」と順に表示します。

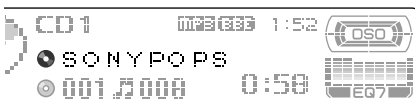
ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのは、MP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機器でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTディスクで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なります。
 - VBR (Variable Bit Rate) : 可変ビットレート) のMP3ファイルを再生したとき
 - 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

CDの再生の場合



ディスク名*1*2/
アーティスト名*3

アルバム名
(MP3のみ)

曲名*1 (MP3、
CD TEXTと
MDのみ)

ID3タグ*4
(MP3のみ)

*1 ディスク名、曲名がついていないときは、それぞれ「NO Disc Name」、「NO Track Name」と表示された後、再生経過時間表示になります。

*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモ(28ページ)の名前を表示します。

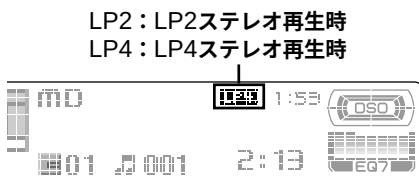
*3 CD TEXTディスク、MP3ファイルまたはMDにアーティスト名が記録されている場合のみ表示します。

*4 MP3にID3タグがついていないときは、「NO ID3 Tag」と表示された後、再生経過時間表示になります。

ID3タグはver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4に対応しています。表示可能な文字コードはASCIIと半角カナ(JolietフォーマットのときはASCIIのみ)で、それ以外の文字は「□」で表示します。アルバム(フォルダー名)、曲(ファイル名)は、それぞれ最大で32文字(Joliet)、64文字(Romeo)、ID3タグは30文字(ver.1.0、1.1)、126文字(ver.2.2、2.3、2.4)まで表示します。ID3タグは曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。使用されている文字コードによっては、文字が正しく表示されないことがあります。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。



長い名前(13文字以上)を見るには

CD TEXTディスク、MP3ファイルまたはMDの再生中に、SCRLボタンを押します。

オートスクロールの設定

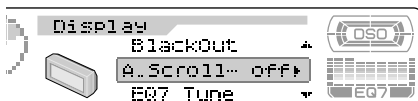
CD TEXTディスク、MP3ファイルまたはMDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと、13文字以上の名前を自動的にスクロール表示させることができます。

ご注意

スクロールするのは、DSPLボタンで選んだ名前のみです。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「A.Scroll」を選ぶ。



3 →を押して「A.Scroll-on」を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

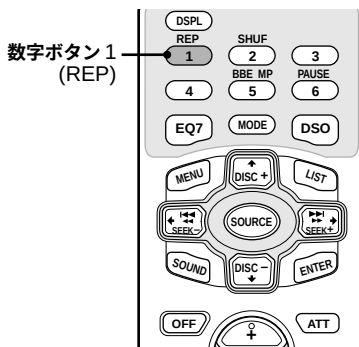
通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには

手順3で「A.Scroll-off」を選びます。

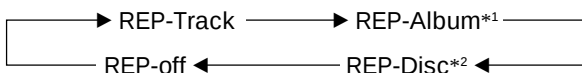
繰り返し聞く (リピート再生)

再生中の曲のみ、アルバム内の全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



CDまたはMDを再生中に数字ボタン1 (REP) を繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

押しごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中の曲を繰り返すには「REP-Track」にする。
- 再生中のアルバム内の全曲を繰り返すには
.....「REP-Album」*1にする。
- 再生中のディスクを繰り返すには
.....「REP-Disc」*2にする。

*1 MP3ファイル再生時のみ表示されます。

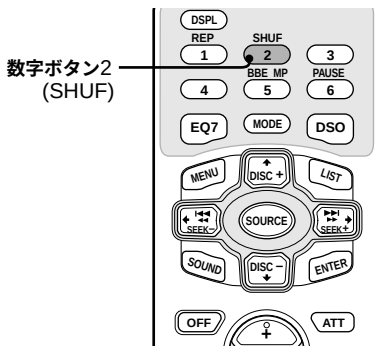
*2 ソニー製CD/MD機器接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

数字ボタン1 (REP) を繰り返し押し、「REP-off」を選びます。

曲順を変えて 聞く (シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ご注意

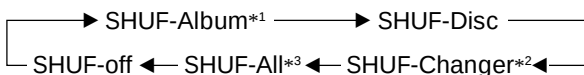
「SHUF-All」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF-Changer」、
「SHUF-All」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDを再生中に数字ボタン2 (SHUF) を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中のアルバム内の全曲を順不同に再生するには 「SHUF-Album」*1にする。
- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには 「SHUF-Disc」にする。
- 再生中のチェンジャー内の全ディスクの全曲を順不同に再生するには 「SHUF-Changer」*2にする。
- 再生中のソース (CDまたはMD) のすべての機器の全ディスクの全曲を順不同に再生するには 「SHUF-All」*3にする。

*1 MP3ファイル再生時のみ表示されます。

*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

*3 ソニー製CD機器を1台以上、またはソニー製MDチェンジャーを2台以上接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

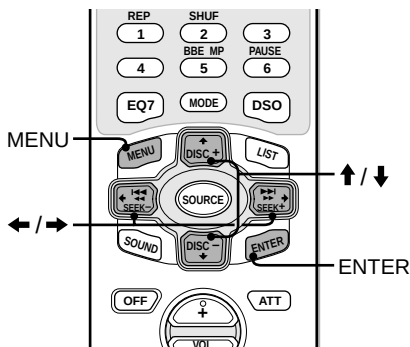
数字ボタン2 (SHUF) を繰り返し押して、「SHUF-off」を選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル —ディスクメモ—)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。



ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能は操作できません。

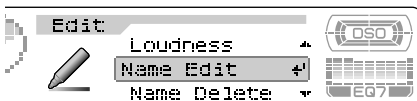
ちょっと一言

- ↑を押すごとに
A → B → ... Z →
0 → 1 → ... 9 → + → -
→ * → / → \ → > →
< → . → ... (スペース) →
A
と換わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても、名前入力モードになります。手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても、操作を完了させることができます。

1 名前をつけたいCDを再生する。

2 MENUボタンを押す。

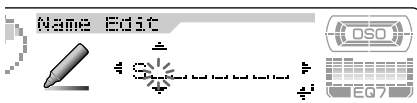
3 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。



5 ↑または↓を繰り返し押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- ディスク名の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 消去したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

- CD TEXTの入ったディスク名を消去すると、もとのCD TEXTの情報が表示されます。
- 「ディスクに名前をつける」(28ページ)の手順5で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- ディスク名がすべて消去された場合は、手順3、5で「NO Data」と表示された後、通常の画面に戻ります。

名前を消去するには

1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Delete」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

4 ↑または↓を繰り返し押して、消去するディスク名を選ぶ。



5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択したディスク名が消去されます。

ほかのディスク名を消去するには、手順4、5を繰り返します。

6 MENUボタンを2回押す。

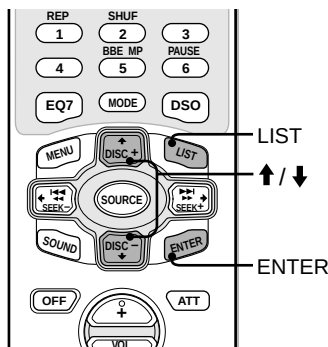
通常の画面が表示されます。

ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3ファイル/CDを再生する場合*
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* ディスクメモ機能 (28ページ) で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

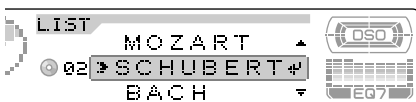
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。
 - 「-----」: ディスクが入っていない。
 - 「.....」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「?」: ディスク情報をまだ読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在再生中のディスク名の左側には「▶」が表示されず。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



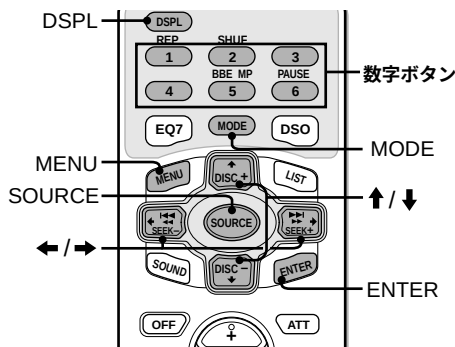
2 ↑または↓を繰り返し押して、聞きたいディスクを選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

受信状態のよい放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



ちょっと一言

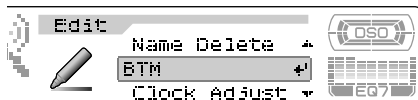
手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の登録番号に登録されません。

受信状態の良い放送局を設定する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を繰り返し押して、「BTM」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「BTM」（ベストチューニングメモリー）が点滅表示し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の画面が表示されます。

登録した放送局を聞くには

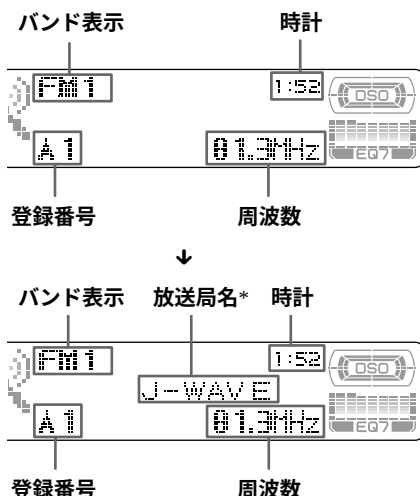
ラジオ受信中にMODEボタンを繰り返し押してバンドを選び、数字ボタン、↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。

[次のページへつづく](#)

放送局を自動で登録する(つづき)

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。



* 名前がついていないときは、「NO Name」と表示されます。
名前の登録のしかたについては、35ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ◀または▶を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「Local Seek +/-」と表示されます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中に◀または▶を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで◀または▶を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
 - 2 ↑または↓を繰り返し押して、「Local」を選ぶ。
 - 3 ▶を押して「Local-on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Local-off」を選びます。

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「OFF」にすると聞きやすくなります(38ページ)。

ご注意

IF Autoモードを「IF-Wide」にして雑音が入り聞きにくい場合は、「IF-Auto」に戻してください。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を繰り返し押しして、「Mono」を選ぶ。
- 3 ➡を押して「Mono-on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Mono-off」を選びます。

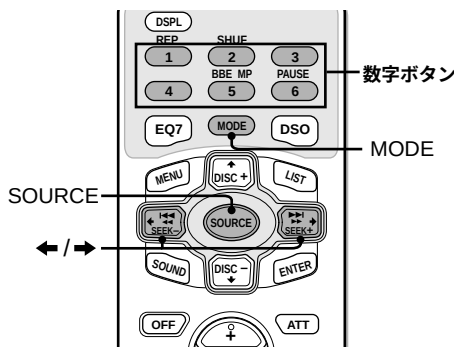
受信周波数帯域幅を自動的に調整する (IF Autoモード)

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなる場合があります。この場合「IF-Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになる場合があります。このような場合でもIF Autoモードを「IF-Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を繰り返し押しして、「IF-Auto」を選ぶ。
- 3 ➡を押して「IF-Wide」を選び、ENTERボタンを押す。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある番号に同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局の登録は消去されます。

ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- ←または→を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

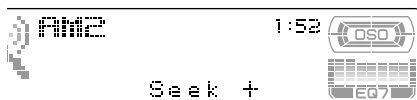
1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで←または→を押し続ける。

B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
←または→を押して離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを2秒以上押し続ける。

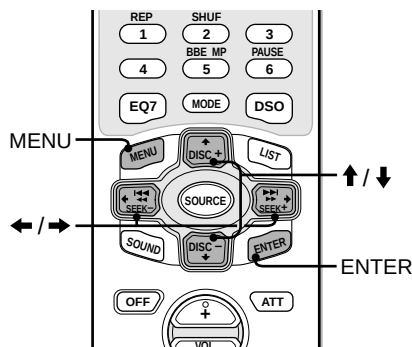
押した数字ボタンの番号が表示され、その番号に選んだ放送局が登録されます。



放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



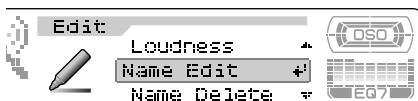
ちょっと一言

- ↑を押すごとに
A → B → ...Z →
0 → 1 → ...9 → + → -
→ * → / → \ → > →
< → , → ... (スペース) →
A
と換わります。↓を押すと
逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字と
カナは使用できません。
- 文字入力を間違えたとき
は、←を押して修正したい
文字を点滅させ、正しい文
字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりに
LISTボタンを2秒以上押し
続けても、名前入力モード
になります。手順6の代わ
りにLISTボタンを2秒以上
押し続けても、操作を完了
させることができます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

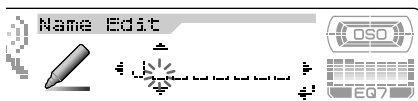
2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。

5 ↑または↓を繰り返し押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

放送局に名前をつける（つづき）

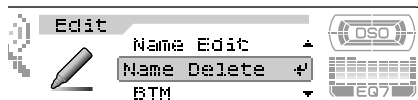
ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」（35ページ）の手順5で、すべての文字に「...」（下線）を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順3、5で「NO Data」と表示された後、通常の画面に戻ります。

放送局の名前を消去するには

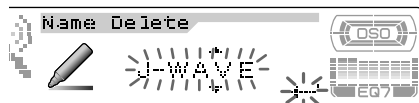
1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Delete」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

4 ↑または↓を繰り返し押して、消去する放送局名を選ぶ。



5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4、5を繰り返します。

6 MENUボタンを2回押す。

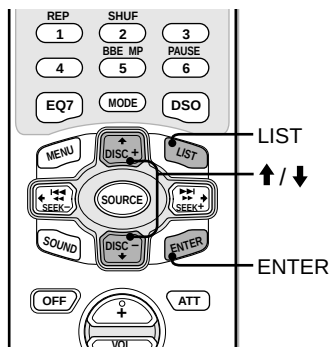
通常の画面が表示されます。

放送局を名前で探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは、35ページをご覧ください。

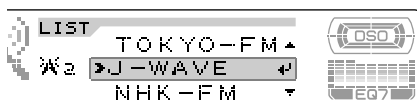
ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名の左側には「▶」が表示されます。



1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 ↑または↓を繰り返し押して、放送局を選ぶ。

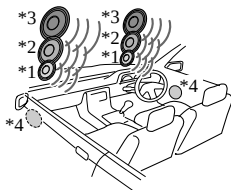
3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

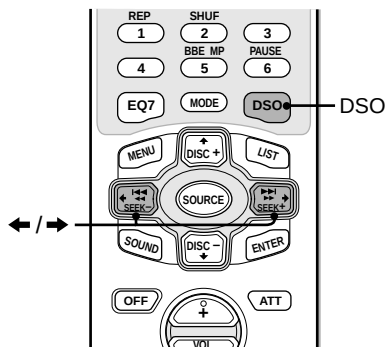
バーチャルスピーカーのイメージ



- *1 DSO 1
- *2 DSO 2
- *3 DSO 3
- *4 DSO OFF

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO-OFF」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに自動的に記憶されます。

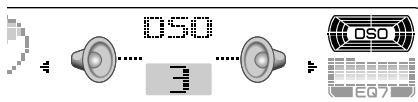


1 設定したいソース（CD、MD、ラジオ、AUXなど）を再生/受信する。

2 DSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。

DSOボタンを押した後、←または→でDSOモードを選ぶこともできます。

押すごとに、DSOモードは次のように切り換わります。



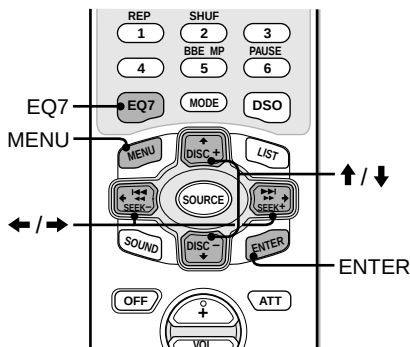
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには

手順2で「DSO OFF」を選びます。

イコライザーを使う (EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ご注意

DSO設定中はDSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えています。

ちょっと一言

イコライザーの設定は各ソースごとに自動的に記憶されます。

イコライザーカーブを選ぶ

1 設定したいソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。

2 EQ7ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。

EQ7ボタンを押した後、←または→でイコライザーカーブを選ぶこともできます。

押すごとに、イコライザーカーブは次のように切り換わります。

→ Xplod ↔ VOCAL ↔ CLUB ↔ JAZZ ←
→ OFF ↔ CUSTOM ↔ ROCK ↔ NEWAGE ←



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには

手順2で「OFF」を選びます。

次のページへつづく

イコライザーを使う（つづき）

ご注意

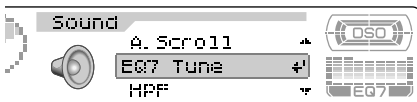
「off」では、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±10dBです。

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定したいソース（CD、MD、ラジオ、AUXなど）を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「EQ7 Tune」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。
- 5 ←または→（またはEQ7ボタン）を繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。



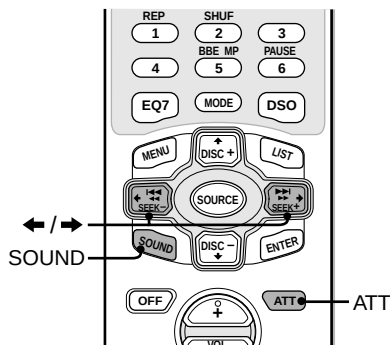
- 6 ENTERボタンを押す。
- 7 ←または→を繰り返し押して、周波数を選ぶ。
押すごとに、周波数は次のように切り換わります。
62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔ 1.0kHz ↔
2.5kHz ↔ 6.3kHz ↔ 16kHz
- 8 ↑または↓を繰り返し押して、レベルを調整する。
手順7と8を繰り返し、イコライザーカーブを調節します。

- 9 ENTERボタンを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには
設定の手順7または8でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

音のバランスや音質を設定する

(バス) (トレブル)
(バランス) (ATT)



ちょっと一言

- 手順2でSOUNDボタンを押すごとに
BASS → TREBLE →
BALANCE → FADER →
SUB → 通常画面
→ BASS
と切り換わります。
- BASS、TREBLE、
BALANCE、FADER、
SUBはソースごとに設定す
ることはできません。

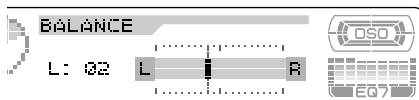
ちょっと一言

本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

出力バランス/音質を調節する

BASS (低音) TREBLE (高音) の音質の調節、BALANCE (左右) のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 ソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BASS」、「TREBLE」または「BALANCE」を選ぶ。
- 3 ←または→を繰り返し押して、設定を調節する。



バランス (BALANCE) の設定表示

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-on」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT-off」と表示され、もとの音量に戻ります。

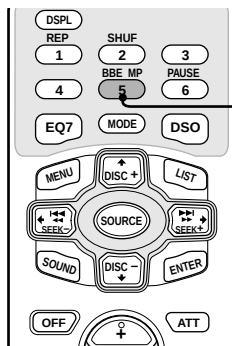
ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース (FM、AM、CD、MD、AUX) ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています (ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

BBE MPの設定を変更する

BBE MPプロセスはデジタル圧縮技術によって失われた高調波を修復、補修することにより、MP3などのデジタル圧縮された音声の音質を改善します。

BBE MPは、最適量の偶数次高調波と奇数次高調波をもとの音から作り出し原音に加えることにより、効果的にやわらかさ、ディテール、ニュアンスなどを再現します。



数字ボタン5
(BBE MP)

ご注意

BBE MPが機能するのは、本機でディスクを再生するときのみです。

ちょっと一言

BBE MPの設定は、本機でディスクを再生するときのみ切り換えることができます。

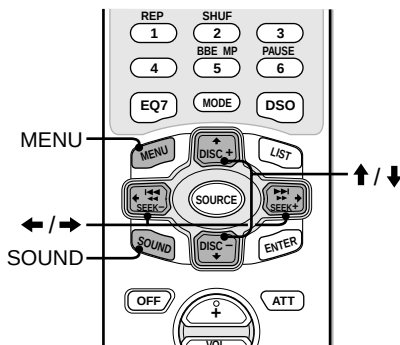
本機で再生中に数字ボタン5 (BBE MP) を押して、「BBE MP-on」を選ぶ。

BBE MPを解除するには

数字ボタン5 (BBE MP) を繰り返し押して「BBE MP-off」を選びます。

スピーカーの出力を設定する

設置されているシステムの特徴に合わせて、フロントとリアの出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。

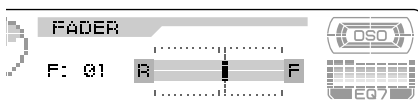


ちょっと一言

- 手順2でSOUNDボタンを押すごとに
BASS → TREBLE →
BALANCE → FADER →
SUB → 通常画面
→ BASS
と切り換わります。
- レベルの調整可能範囲は
±10dBです。

出力レベルを調整する

- 1 ソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「FADER」を選ぶ。
- 3 ←または→を繰り返し押して、出力レベルを調整する。



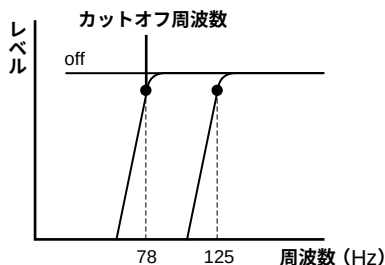
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

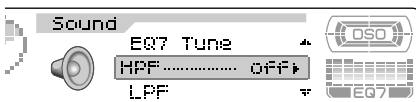
スピーカーの出力を設定する（つづき）

スピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かしきるためカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、「78Hz」を選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 ソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「HPF」を選ぶ。



- 4 ←または→を繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。
- 5 MENUボタンを押す。

ちょっと一言

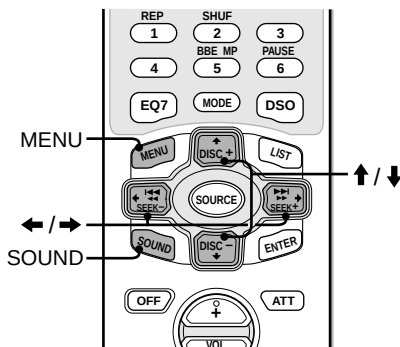
手順4で←または→を押すごとに

off (初期値) ↔ 78Hz ↔ 125Hz

と切り換わります。

サブウーファー の出力を設定 する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

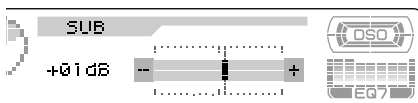


ちょっと一言

- 手順2でSOUNDボタンを押すごとに
BASS → TREBLE →
BALANCE → FADER →
SUB → 通常画面
→ BASS
と切り換わります。
- レベルの調整可能範囲は
±10dBです。(−10dB以下
は「−∞dB」と表示しま
す。)

出力レベルを調整する

- 1 ソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「SUB」を選ぶ。
- 3 ←または→を繰り返し押して、出力レベルを調整する。



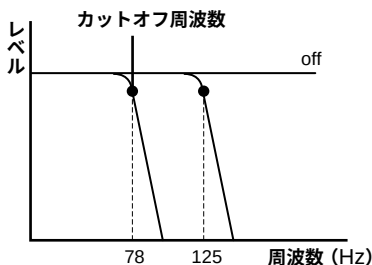
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

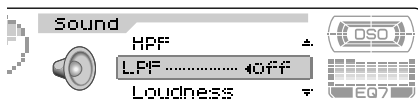
サブウーファーの出力を設定する(つづき)

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、「125Hz」を選ぶと、125Hz以上の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「LPF」を選ぶ。

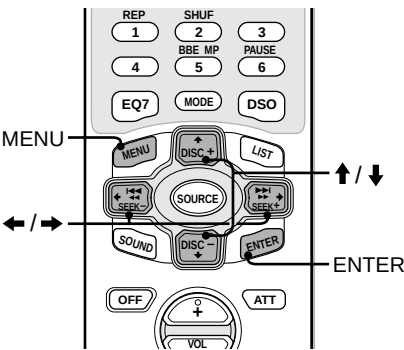


- 4 ←または→を繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。
- 5 MENUボタンを押す。

ちょっと一言

手順4で←または→を押すごとに
78Hz ↔ 125Hz ↔
off(初期値)
と切り換わります。

音や表示などの
設定を換える



ご注意

- 選べるメニュー項目はソースによって変わります。
- *1 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピツ」という音は出ません。
 - *2 別売りのソニー製CD/MD機器を接続していないときに、ソースの再生/受信の停止中のみ設定できます。
 - *3 ソースを再生/受信中の場合のみ設定できます。
 - *4 ソースの再生/受信の停止中のみ設定できます。
 - *5 「Contrast」はフロントパネルを開いた状態でのみ設定できます。「Contrast」はオペレーションサイドのメニューにのみ表示されません。
 - *6 フロントパネルを閉じた状態でのみ設定できます。

Setupメニュー

設定の種類	設定内容
Clock Adjust	時計の設定（20ページ）。
Beep*1	操作ボタンを押したときの「ピツ」という音をon/offする。
AUX-A*2	SOURCEボタンを押した時の「AUX」の表示の有無を設定する（52ページ）。

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
Clock*3*6	再生/受信中に常に時計を表示する。
A.IMG*6	画面モードに登録されている画像を自動で切り換える（50ページ）。
Demo*4	再生/受信の停止中にデモを表示する。
Info*6	画像の表示中に表示窓の下に表示される文字の有無を設定する。 「on」 → 文字を表示する。DSPLボタンを押すと表示文字が切り換わる。 「off」 → 文字を表示しないで、画像のみを表示する。
Dimmer	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明を「on」にすると表示が減光する。 （車の照明電源に接続されている場合のみ） 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
Contrast*5	画面のコントラストを設定する。（全11段階）
BlackOut*6	操作中に表示窓を真っ暗にする。 「on」 → 表示を消す。真っ暗になるが、操作はできる。 「off」 → 表示窓を明るくする。
A.Scroll	MP3、CD TEXTまたはMDの表示を自動的にスクロールさせる（25ページ）。

その他の操作

次のページへつづく

音や表示などの設定を換える（つづき）

*7 ソースがAUXの場合のみ設定できます。

ちょっと一言

↑または↓を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリがスキップします。

Receive Modeメニュー

設定の種類	設定内容
Local	電波の強い放送局を受信する（32ページ）。
Mono	ステレオFM放送をモノラルにする（33ページ）。
IF-Auto/Wide	受信周波数を自動的に調整する（33ページ）。

Soundメニュー

設定の種類	設定内容
EQ7 Tune	イコライザーカーブを調節する（40ページ）。
HPF	フロント/リアスピーカーのカットオフ周波数を選ぶ（44ページ）。
LPF	サブウーファースのカットオフ周波数を選ぶ（46ページ）。
Loudness	音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくする。
AUX Level*7	AUX IN（外部音声入力）に接続した機器の出力レベルを設定する（51ページ）。

設定を換える

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、設定したい項目を選ぶ。

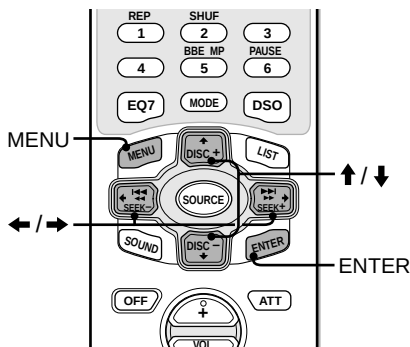
3 ←または→を押して調節したい設定にする。 (例：「on」または「off」)

4 ENTERボタンを押す。 通常の画面が表示されます。

画面モード・表示 画像を設定する

画面モードは、壁紙モード、スペクトラムアナライザーモード、動画モードの3種類です。

また、3種類のモードに登録されている画像のうち、お好みで1つの画像を設定することができます。



ご注意

Auto Imageモードの初期設定は「A.IMG-All」です。IMAGEボタンを押して、表示画像を切り換えてから数秒後に、Auto Imageモードに戻ります。1つの画像のみを表示したい場合は「A.IMG-off」に設定してください。

* 壁紙モード

：5種類
スペクトラムアナライザーモード

：6種類

動画モード

：3種類

が登録されています。

表示画像を設定する

1 ソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。

2 本体のIMAGEボタンを繰り返し押して、表示画像を選ぶ。

IMAGEボタンを押すごとに表示画像は次のように切り換わります。

▶ 壁紙モード (1-5)* → スペクトラムアナライザーモード (1-6)*
← 通常画面 ← 動画モード (1-3)*



壁紙モードの表示

表示画像を解除するには

手順2で通常画面を選びます。

次のページへつづく

画面モード・表示画像を設定する（つづき）

ちょっと一言

- Auto Imageモードを設定した場合、本体のIMAGEボタンを押して表示画像を切り換えることはできますが、数秒後にもとのAuto Imageモードに戻ります。1つの画像のみを表示したい場合は「A.IMG-off」に設定してください。
- Infoモードをoffに設定すると、表示窓下に表示される文字を消して、画像のみを表示することができます（47～48ページ）。
- 手順4で←または→を押すごとに
All↔off↔SA↔Movieと切り換わります。

Auto Imageモードを設定する

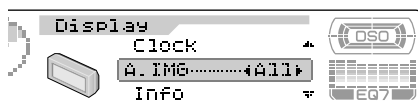
Auto Imageモードは画面モードに登録されている画像を、10秒おきに自動で切り換えます。

- A.IMG-All ... 全ての画面モードの全ての画像を順不同に、繰り返し表示する。
- A.IMG-SA ... スペクトラムアナライザーモードの画像を繰り返し表示する。
- A.IMG-Movie ... 動画モードの画像を繰り返し表示する。

1 ソース（CD、MD、ラジオ、AUXなど）を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「A.IMG」を選ぶ。



4 ←または→を繰り返し押して、設定したいモードを選ぶ。

5 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

Auto Imageモードを解除するには

手順4で「A.IMG-off」を選びます。

ポータブル機器の音声を聞く

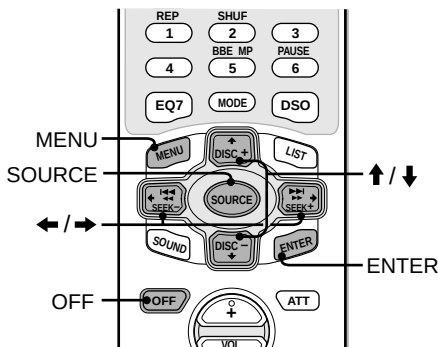
本機の外部音声入力（AUX IN）端子は、バス音声入力（BUS AUDIO IN）端子と兼用です。別売りのソニー製CD/MD機器の代わりに、DVDポータブルプレーヤー（別売り）などを接続し、その音声を車のスピーカーから聞くことができます。

ご注意

- 別売りのソニー製CD/MD機器を接続すると、ポータブル機器は接続できません。ポータブル機器とCD/MDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セクターをお使いください。
- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

ちょっと一言

- 本機に接続した機器によって音量調整は異なります。
- 出力レベルの調整可能範囲は± 6dBです。



ソースを設定する

SOURCEボタンを繰り返し押して、「AUX」を選ぶ。



出力レベルを調整する

- 1 ソースが「AUX」のときに、MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を繰り返し押して、「AUX Level」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓を繰り返し押して、接続した機器に合わせて出力レベルを調節する。
- 5 ENTERボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

次のページへつづく

ポータブル機器の音声を聞く（つづき）

ソースにAUXを表示させない

1 OFFボタンを押す。

再生/受信が止まります。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「AUX-A」を選ぶ。

4 →を押して「AUX-A-off」を選ぶ。

5 MENUボタンを押す。

ソースにAUXを表示させるには

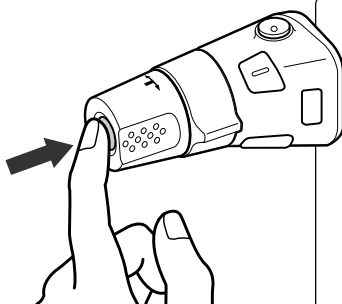
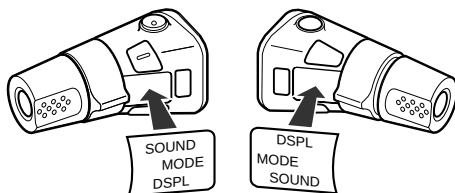
手順3で「AUX-A-on」を選びます。

ロータリーコマンダー（別売り）の操作

本機はワイヤードロータリーコマンダー（RM-X4S）で操作できます。

ロータリーコマンダーのシールについて

ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



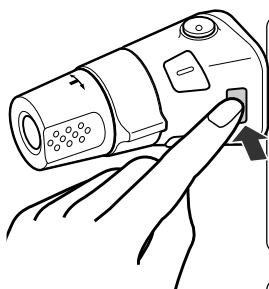
ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
ラジオ (FM/AM) → CD → MD*¹ → AUX*² → ラジオ
と切り換わります。

*¹ 別売りの機器を接続時のみ表示します。

*² 別売りのソニー製ポータブル機器を本機の外部音声入力端子に接続時のみ表示します。

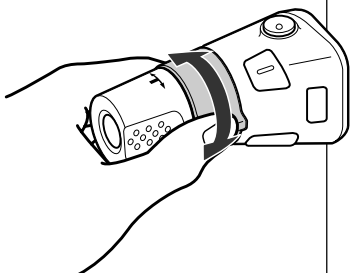
(別売りのソニー製CD/MD機器を接続している場合は使用できません。ポータブル機器とCD/MDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。)



モード MODEボタンを押すと

ラジオの時：FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
CDの時：CD1 → CD2*³ → ... → CD1
MDの時*³：MD1 → MD2 → ... → MD1
と切り換わります。

*³ 別売りの機器を接続時のみ表示します。



SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

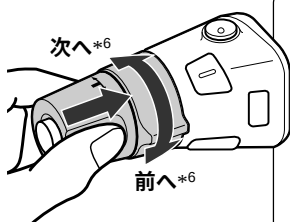
ラジオ 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD/MD .. 曲の頭出しをする

つまみを離してから2秒以内に再び回し続けると、
連続して曲がスキップします。

回し続けると早送り/早戻しになり、離すと再生
に戻ります。

ロータリーコマンダー（別売り）の操作（つづき）



ボリューム

VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM 登録した放送局を順に受信する

CD/MD ディスクを切り換える*4

アルバムを切り換える*5

*4 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

*5 MP3再生時のみ切り換えます。

ディスクやアルバムの切り換えかた

本機でCDを再生している場合

（別売りのCD機器を接続していない場合）

MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいアルバムを選びます。

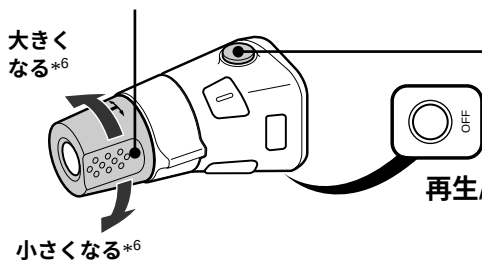
回し続けると連続して送れます。

（通常の音楽CD再生時は動作しません。）

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合

- VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。
つまみを戻してから2秒以内に再び押しながら回すと、回し続けている間は連続して送れます。
- チェンジャー内のアルバムを選ぶには
 - ① VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回し続けると、アルバム選択モードになります。
 - ② 2秒以内に再びSEEK/AMSつまみを短く回すと、回すごとにアルバムを1つずつ送れます。

音量を調節する ボリューム (VOLつまみを回す)

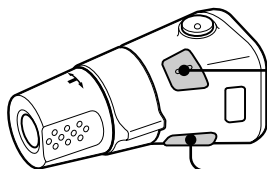


音量を瞬時に下げる アッテネート (ATTボタンを押す)

解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生/受信の停止 オフ (OFFボタンを押す)

*6 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

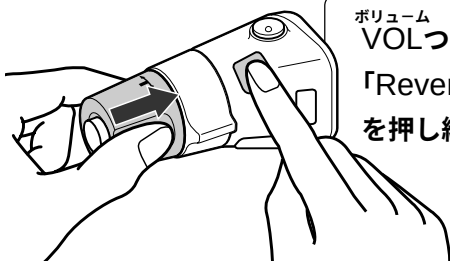


音量調節・音質選択する ^{サウンド} (SOUNDボタンを押す)
 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える ^{ディスプレイ} (DSPLボタンを押す)
 本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



^{ボリューム}
VOLつまみを押しながら、「Normal」または
^{サウンド}
「Reverse」が表示されるまでSOUNDボタン
を押し続ける

「Normal」..... 初期設定の回転方向

「Reverse」... 運転席の右側に取り付けた
 ときの回転方向

使用上のご注意

本機の取り扱い

液晶表示について

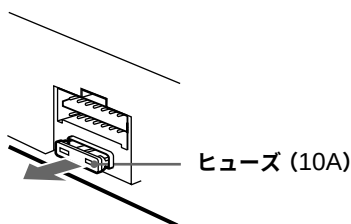
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

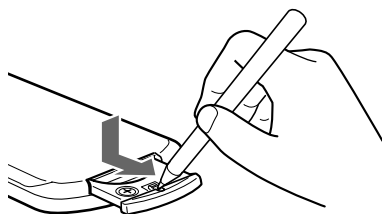
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

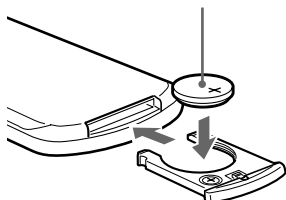
電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

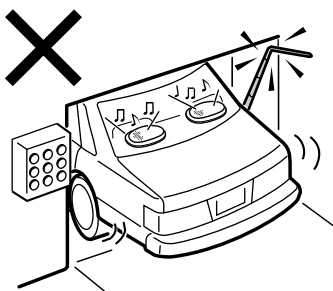
[次のページへつづく](#)

使用上のご注意（つづき）

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	• 音量を上げてください。 • ATT機能を解除してください。 • スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 • 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 → ソニー製MDLP対応機器（MDX-66XLPなど）で再生してください。 • MP3未対応のCD機器でMP3ディスクを再生している。 → 本機またはソニー製MP3対応機器（CDX-757MXなど）で再生してください。
共通 メモリーの内容が消えてしまった。	• リセットボタンを押した。 • バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。 • 電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定（47～48ページ）を「on」にしてください。 • 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	• OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。 • BlackOut の設定を「on」にすると、なにも表示されない。 → 設定を「off」にしてください（47～48ページ）。
電源が入らない。	• 電源コードが正しく接続されていない。 • イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを押し続けてください。
オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
「 name not found 」表示が消えない。	名前入力モードに入った。 →LISTボタンを2秒以上押し続けてください。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	•すでに別のディスクが入っている。 •ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル(レーベル)面を上に入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	•CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。 •ディスクが傷ついている。 •本機の取り付け角度が60°を超えている。 •本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 •保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。 •320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。
MP3ファイルが再生できない。	•MP3未対応のCD機器の場合はCDと認識し、無音再生します。 •ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。 •MP3ファイルに拡張子が付いていない。 →記録した機器で拡張子「.mp3」を付けてください。 •MP3ファイル以外に拡張子「.mp3」を付けている。
アルバム名、曲名、ID3 タグが正しく表示されない。	ISO9660レベル1に準拠して記録されていない。 →準拠しているCDを使用してください。
アルバム名、曲名、ID3タグが「□」になる。 CD TEXTの文字が「□」になる。表示します。	本機で表示できる文字コードはASCII と半角カナ(JolietはASCII のみ)です。それ以外の文字は「□」とCD TEXTの文字が「□」になる。表示します。

共通

CD/MD

	症状	原因・処置
ラ ジ オ	受信できない。 雑音しか出ない。	• パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリ電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールコードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
	←または→を押しても聞きたい放送局で止まらない。	• 「Local-on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「Local-off」にしてください（32ページ）。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → ←または→を押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	• 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください（33ページ）。
サ ウ ン ド 設 定	音が出ない。 音が小さい。	左右のスピーカー出力のバランス（BALANCE）、フロントとリアの出力レベル（FADER）の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BALANCE、FADERを調節してください（41、43ページ）。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
Failure	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
High Temp	周囲の温度が50℃を超えている。	50℃以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Magazine	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO Music	MP3対応CD機器に音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データが記録されたディスクを入れる。
Offset	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 ディスプレイのエラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口を持ち込む。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	120dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	67dB (ステレオ) 69dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ) 0.3% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)

AM	
受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4~8 Ω
最大出力	52W $\times$ 4 (4 Ω 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー (モノラル) 音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子/外部音声入力 (AUX IN) 端子、 バスコントロール入力端子、 リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用) ATT入力端子 (ナビ用) イルミネーションコントロール 入力端子
トーンコントロール	低音: $\pm$ 8dB (100Hz) 高音: $\pm$ 8dB (10kHz)
ラウドネス	100Hz: +8dB 10kHz: +2dB
本体寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 184mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 162mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.7kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) カードリモコン RM-X143 (1) (リチウム電池 (1) を含む) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)

別売品	DVDチェンジャー (10枚)
	DVX-100S
	CDチェンジャー (10枚)
	CDX-757MXなど
	MDチェンジャー (6枚)
	MDX-66XLPなど
	パワーアンプ
	XM-460GTXなど
	アクティブサブウーファー
	XS-AW5X
	外部入力セレクター
	XA-300
	ソースセレクター
	XA-C30
	ワイヤードロータリー
	コマンダー
	RM-X4S
	ワイヤレスロータリー
	コマンダー
	RM-X6S
	バスケーブル (RCAピンコード 付属)
	RC-61 (1m)、
	RC-62 (2m)
	バス延長コード
	RC-U305 (0.5m)
	RCAピンコード
	RC-64 (2m)、
	RC-65 (5m)
	電源コード
	RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー 39~40
エラー表示 62
オートスクロール
..... 25、47~48
音量 15、41

カ行

カスタムファイル 28~29
カットオフ周波数 44、46
画像 49~50
壁紙モード 49

サ行

サブウーファー出力 45~46
ステーションメモ 35~36
シャッフル 27
ステレオ放送 33
スピーカー出力 43~44
スピーカーバランス 41
スペクトラムアナライザー
モード 49~50
ソースサウンドメモリー 41

タ行

デモ 47~48
ディスクメモ 28~29
動画モード 49~50
登録
自動登録 31
手動登録 34
時計 20

ナ行

名前
探す 30、37
消去する 29、36
つける 28、35
表示する
..... 24、30、32、37

ハ行

バランス 41
ヒューズ 56
表示窓
CD/MP3・MD 24
ラジオ 32
ベストチューニングメモリー
(BTM) 31
ボタンの音 47~48

マ行

モノラル 33、48

ラ、ワ行

ラジオ 15、31~37
自動選局 15、31
登録 31、34
名前で探す 37
名前を消去する 36
名前をつける 35
リスト 30、37
リセット 13
リピート 26
リモコン
カードリモコン
..... 17~19、57
ロータリーコマンダー
..... 53~55

アルファベット順

A.IMG 47~50
A.Scroll 25、47~48
ATT 41
AUX-A 47~48、52
AUX Level 48、51
BASS 41
BALANCE 41
BBE MP 42
Beep 47~48
BlackOut 47~48
BTM 31
CD/MP3・MD 21~27
CD TEXT 21、24
Clock 47~48
Clock Adjust 20、47~48
Contrast 47~48
Demo 47~48
Dimmer 47~48
DSO 38
EQ7 39~40
EQ7 Tune 40、48
FADER 43
HPF 44、48
ID3タグ 24
IF-Auto/Wide 33、48
Info 47~48
Local 32、48
Loudness 48
LPF 46、48
MDLP(LP2/LP4) 21、25
Mono 33、48
MP3 9~11、21~22、24
MS 23
Name Edit 28、35
Name Delete 29、36
REP 26
RESET 13
SHUF 27
SUB 45
TREBLE 41

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● **ナビダイヤル***.....  **0570-00-3311**

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● **携帯電話・PHSでのご利用は***..... **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● **FAX**..... **0466-31-2595**

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けおよびプリント配線板に無鉛はんだを使用しています。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材に紙材料を使用しています。